

## 「食事バランスガイド」とは？

「食事バランスガイド」とは、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかが一目でわかる食事の目安です。

食事と運動のバランスはコマで表現

食事のバランスが悪くなると倒れてしまうこと、規則正しくコマが回転することは、継続的な運動の重要性を表現しています。

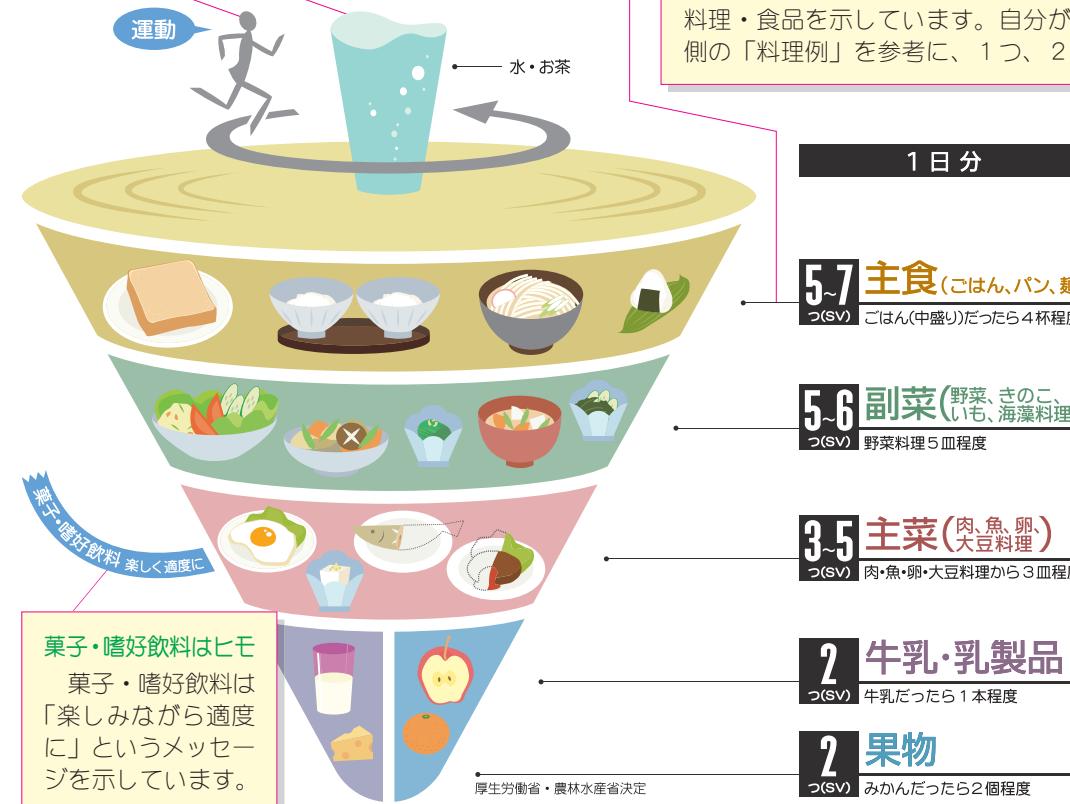
**水分は軸**  
水やお茶はコマの軸とし、食事の中で欠かせない存在であることを示しています。

「主食」「副菜」「主菜」「牛乳・乳製品」「果物」の5つの料理区分で表現

上部から、十分な摂取が望まれる主食、副菜、主菜の順に並べ、牛乳・乳製品と果物については、同程度と考え、並列に表しています。

料理区分ごとに「何を」「どれだけ」食べるかは具体的な料理で表現

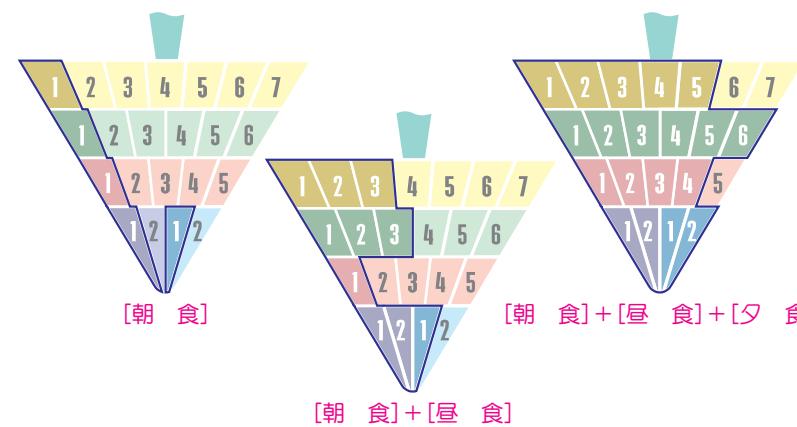
コマのイラストでは、1日にとる量の目安の数値(つ(SV))と対応させて、ほぼ同じ数の料理・食品を示しています。自分が1日に実際にとっている料理の数を確認する場合には、右側の「料理例」を参考に、1つ、2つと数えることができます。



**菓子・嗜好飲料はヒモ**  
菓子・嗜好飲料は「楽しみながら適度に」というメッセージを示しています。

## 「食事バランスガイド」活用例

食事例 1 : 20歳代OLの場合 (2,000kcal)



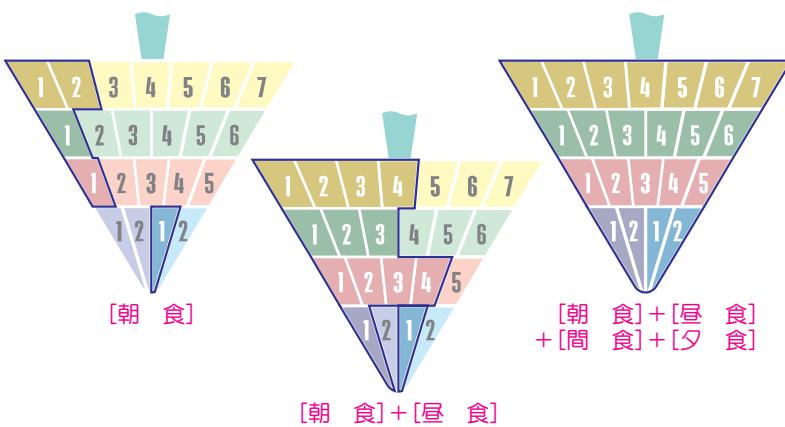
朝はパン、昼はスパゲティで2食が洋食、夕食は魚を中心の和食献立

<食事別、各料理区分における摂取の目安>

食事	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物
朝 食	食パン薄切り1枚	ミストロースト1	目玉焼き1	ヨーグルト1	いちご6個1
昼 食	スパゲティ1皿(ナポリタン)2	ナポリタン具1 野菜サラダ1		ミルクコーヒー1杯1	
夕 食	ごはん小2杯2	筑前煮2 ほうれん草味噌汁1	さんま塩焼き2 冷奴1/3丁1		みかん1個1
合 計	5	6	4	2	2

単位:つ(SV)

食事例 2 : 事務職男性の場合 (2,400kcal)



肉料理(主菜3つ(SV))は昼に多く摂り、夕食は主菜が少なく副菜が多い献立

<食事別、各料理区分における摂取の目安>

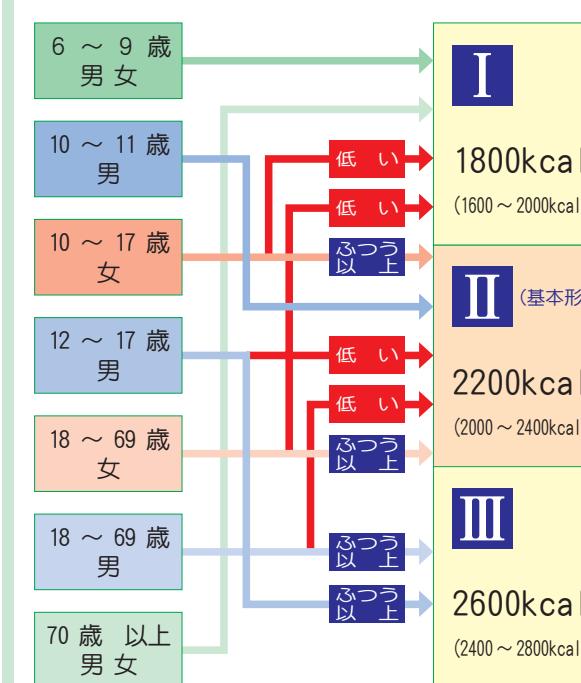
食事	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物
朝 食	ごはん小2杯2	ひじき煮物1	目玉焼き1		みかん1個1
昼 食	ごはん小2杯2	苔ソテー1 野菜サラダ1	ハンバーグ3 ミルクコーヒー1杯1		
夕 食	ごはん小2杯2	貝出汁味噌汁1 茹でアスパラガス1 筑前煮1	あさり蒸煮1 ヨーグルト1	いちご6個1	
間 食	おにぎり1個1				
合 計	7	6	5	2	2

単位:つ(SV)

## 「食事バランスガイド」の使い方

### ステップ1

自分が1日に必要なエネルギー量をチェック!  
身体活動レベル(※)を考慮して、必要なエネルギー量の目安を確かめましょう。



### ステップ2

料理区分ごとの摂取の目安をチェック!  
必要なエネルギーに応じて、適宜、各料理区分の目安となる量を選択しましょう。

エネルギー(kcal)	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物
1600	4~5		3~4		
1800				2	2
2000	5~6				
2200	5~7		3~5		
2400					
2600	7~8	6~7	4~6	2~3	2~3
2800					

### ※身体活動レベルの見方

「低い」=1日のうち座っていることがほとんど。  
「ふつう」=座り仕事が中心だが、歩行・軽いスポーツ等を5時間程度は行う。

さらに強い運動や労働を行っている人については、その内容や時間に応じて適宜、調整が必要。

### <肥満者の場合>

肥満(成人でBMI ≥ 25)の場合には、体重変化を見ながら適宜、エネルギーの量を「1ランク」下げる等の工夫が必要となる。

☆ 身体活動レベルが「低い」に該当する人は、歩くなど軽い“運動”をして、身体活動レベルを上げましょう!

### ステップ3

目的や好みに合わせて料理を選ぶ  
楽しく食事をする!

体重と腹囲(ウエストサイズ)の変化をチェック(裏面参照)  
自分の食生活を見直す!